2025 年度 (令和 7 年度) 学校評価自己評価表

済美 中学校区 校番 17 福山市立 赤坂小 学校

最終更新日 2025年(令和7年)4月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン 各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、
日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○「主体的、対話的で深い学び」を実現するために授業改善に取り組み、学力の定着を図っている。 ○児童生徒の活動状況等をHPや便り等で情報発信し、保護者や地域との情報共有に努めると、保護者や地域を巻き込んだ教育活動に広がると考える。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。 ○児童会・生徒会の交流を通して、各校において課題を解決し、より良い学校づくりに取り組むことの大切さを感じている。しかし、主体的・協働的に取り組む姿勢には課題がある。</p>	<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として 統一した取組等</p>	<p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心</p> <p>①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係を築き、共によりよく生きようとしている。</p> <p>○「選択・決定」「対話の充実」「振り返り」をキーワードに授業づくりを進める。 ○「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会・生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成</p>
--	---	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>主体的に考え、学び合う児童の育成を通して、 保護者・地域の信頼に応える学校</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="974 705 1187 1490"> <p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像</p> <p>小学校</p> <p>1・2年 3・4年 5・6年</p> <p>中学校</p> <p>1年 2年 3年</p> </td> <td data-bbox="1187 705 2114 1490"> <p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心</p> <p>「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。 「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。 気づいたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。 気づいたこと・考えたことやその意味・価値・つながりを振り返り、見出した新たな目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら解決・達成することができる。</p> <p>自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。 相手の人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。 自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。 自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら、質問・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したたりすることができる。</p> </td> </tr> </table>	<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像</p> <p>小学校</p> <p>1・2年 3・4年 5・6年</p> <p>中学校</p> <p>1年 2年 3年</p>	<p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心</p> <p>「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。 「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。 気づいたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。 気づいたこと・考えたことやその意味・価値・つながりを振り返り、見出した新たな目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら解決・達成することができる。</p> <p>自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。 相手の人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。 自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。 自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら、質問・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したたりすることができる。</p>
<p>育成する力 資質・能力</p> <p>めざす子ども像</p> <p>小学校</p> <p>1・2年 3・4年 5・6年</p> <p>中学校</p> <p>1年 2年 3年</p>	<p>○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心</p> <p>「なぜ・どうして」「もっとこうしたい」という思いや考えをもち、言葉にすることができる。 「なぜ・どうして・どうすれば」「こうすれば・こうしよう」と言葉にして行動することができる。 気づいたこと・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次へつなげることができる。 気づいたこと・考えたことやその意味・価値・つながりを振り返り、見出した新たな目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら解決・達成することができる。</p> <p>自分の周りの人の考えを(目線を合わせてうなずくなど反応しながら)最後まで聴くことができる。 相手の人の考えを、自分の考えと比べたり関係付けたりし、整理して伝えることができる。 自分の考えを、他者に分かりやすく(例え話の挿入・図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方の工夫など)伝え、理解、納得を得ることができる。 自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら、質問・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したたりすることができる。</p>		
<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え 学び合う 子どもの育成</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p> <p>自ら学び続ける子どもの育成 ～「楽しい」「面白い」と実感できる授業づくり～ ○子どもの意欲や思考の流れを活かした探究的に学ぶ単元づくりについて ○次の学習や活動につながる選択・自己決定になっているか、見通しのもたせ方や振り返りの活用方法について</p>		
<p>現状</p> <p><児童生徒> ○決められた学習については意欲的に取り組むが、自ら課題設定を行い学習を進めることには自信をもてない児童が多い。 ○「どのように学ぶか」「誰と学ぶか」など自己選択することを肯定的に捉えている児童が多いが、学習の見通しをもち、よりよい選択をすることには課題がある。</p> <p><授業> ○「自由進度学習」を取り入れるなど児童主体の授業づくりを進めているが、教師が作成した単元計画を導入場面で提示したり、授業内容を教師が一方的に説明したりするなど、十分に子ども児童主体の授業になっているとはいえない。</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>○児童が、見通しをもって選択・自己決定し、振り返りを生かしながら、自ら探究的に学びを進めている。 ○児童同士が対話し、関わり合う中で楽しみながら、知識を獲得したり、新しいことに挑戦したりすることができる。</p>		